

## 第 72 回日本衛生動物学会西日本支部大会

## 第 12 回日本衛生動物学会西日本支部例会

### 大会概要

大会長：中嶋智子（京都府保健環境研究所環境衛生課）

会 期：2017 年（平成 29 年）10 月 14 日（土）午後 ～ 15 日（日）

会 場：京都府民総合交流プラザ「京都テルサ」東館 3 階大会議室  
京都市南区東九条下殿田町 70 番地（新町通九条下ル）  
電話：075-692-3400

#### 日程

10 月 14 日	13：00～	受付開始
	13：30～	第 12 回日本衛生動物学会西日本支部例会
	15：25～	開会挨拶
	15：30～	シンポジウム
	18：30～	情報交換会 京都テルサ内「レストラン朱雀」
10 月 15 日	9：00～	受付開始
	9：15～	一般講演（蚊）
	10：15～	一般講演（アリ，アブ，トコジラミ）
	11：15～	ワークショップ 1（マダニの生態）
	12：15～13：00	昼食・支部幹事会
	13：10～13：30	総会
	13：40～	ワークショップ 2（紅斑熱リケッチアと SFTSV）

## お知らせ

### 受付

10月14日 13:00～

10月15日 9:00～

参加費・情報交換会会費は当日受付にてお支払いください。

参加費：会員・一般 3,000円

非会員の支部会入会金 1,000円

学生無料

情報交換会会費：4,000円(学生 2,000円)

### 講演用 ppt.ファイル締め切り

講演者は**10月10日(火)(必着)**までに、Power Point で作成したファイルを CD 又は DVD に書き込み郵送下さい(氏名・連絡先明記)。ファイルサイズが 5MB 以下の場合は、直接中嶋までメールでお送りいただいてもかまいません。また、容量の大きいファイルは、京都府の交換サーバーにアップロードも可能です。交換サーバーは使用期間には制限がありますので、9月中旬以降、発表者の皆様には、メールでリンク先をご案内申し上げます。

発表時に使用するパソコンにコピーした演者ファイルは講演終了後、事務局で責任をもって消去いたします。

CD 又は DVD 送付先

〒612-8369 京都市伏見区村上町 395

京都府保健環境研究所 環境衛生課 中嶋 智子

メールアドレス：s-nakajima21@pref.kyoto.lg.jp

TEL 075-621-4162 / FAX 075-612-3357

### 発表形式

一般講演、ワークショップは1題12分(講演10分、質疑2分)を予定。

### 情報交換会

10月14日(土)18:30から京都テルサ内「レストラン朱雀」で行います。

### 幹事会

10月15日(日)12:10から大会会場で行います。

昼食は事務局で準備します。

### 総会

10月15日(日)13:10から大会会場で行います。

プログラムに同封する資料をご持参ください。

### 休憩室・談話室

A会議室を開放しております。

## 会場までのアクセス・駐車場

下記の京都テルサウェブサイトをご参考ください。

<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>

## 公共交通機関による会場までの順路

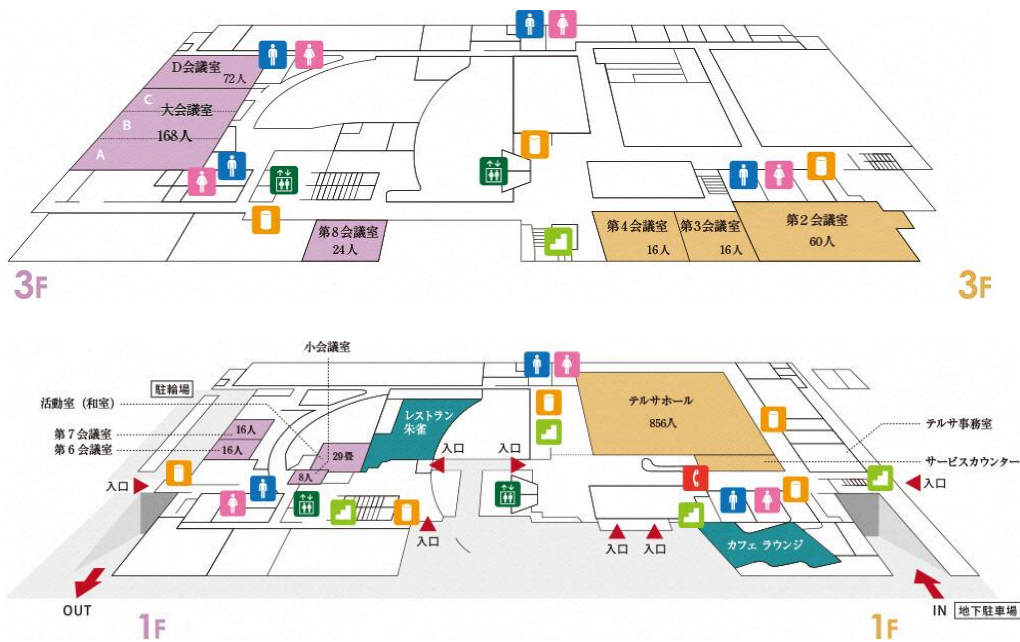
- ・JR 京都駅（八条口西口）より南へ徒歩約 15 分
- ・近鉄東寺駅より東へ徒歩約 5 分
- ・京都市営地下鉄九条駅 4 番出口より西へ徒歩約 5 分
- ・京都市バス九条車庫停留所南へすぐ

有料駐車場が地下に 180 台ありますが、会場利用による優待はありません。  
周辺に 1 日最大 600 円～の駐車場もあります。

## 宿泊

京都市内には多数ございますが、稼働率が高く、観光シーズンの週末は満室が多いと聞いております。早めに各自で予約くださるよう、お願いいたします。

## 会場案内の図



## 大会事務局

〒612-8369 京都市伏見区村上町395 京都府保健環境研究所 環境衛生課  
中嶋 智子 s-nakajima21@pref.kyoto.lg.jp  
TEL 075-621-4162/FAX 075-612-3357

## プログラム

10月14日（土）

13：30～ 第12回 日本衛生動物学会西日本支部例会（世話人：夏秋 優）

テーマ「獣害と外来種問題」

R1. 「野生動物被害（獣害）とは何か？動物生態学の視点からの再考」

岡山理科大学理学部動物学科 中本 敦

R2. 「ヒアリの特徴 — 敵を知り，己を知れば，百戦危うからず」

兵庫県立大学／兵庫県立人と自然の博物館 橋本佳明

R3. 「ヒアリ刺症の対応について」

兵庫医科大学皮膚科学 夏秋 優

15：30～ シンポジウム：「衛生動物学からヒトと生物の関係をみなおす」

司会：中嶋智子（京都府保健環境研究所 環境衛生課）

S1. ゴキブリ：生態，なぜ嫌われるか，永遠の衛生動物？

環境生物研究会 辻 英明

S2. コウチュウ類 苦情対象種の多様性と防除事例

奥村防虫科学（株） 代表取締役 奥村 敏夫

S3. ヒトとハチの関係性について

京都産業大学総合生命科学部 准教授 高橋 純一

S4. 感染症媒介動物としてのマダニ

馬原アカリ医学研究所 所長 藤田 博己

18：30～ 情報交換会 京都テルサ内「レストラン朱雀」

10月15日（日）

9：10～ 一般演題（蚊）座長：渡辺 護

1. 日本産蚊科昆虫の種目録について

○上村 清<sup>1)</sup>，木村悟朗<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>丸三製薬バイオテック，<sup>2)</sup>イカリ消毒）

2. カ類調査における3種類（ドライアイスを用いたCDC型ミニチュアライトトラップ，ヒト匣法，BG-センチネル<sup>TM</sup>2トラップ）のトラップ比較

中嶋智子<sup>1)</sup>，○藤本恭史<sup>1)</sup>，福浦祐介<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>京都府保健環境研究所 環境衛生課，<sup>2)</sup>現在，中丹西保健所）

3. 蚊媒介感染症発生時を想定した名古屋市都市公園におけるヒトスジシマカ生息密度調査と植栽における散布訓練

○川西里佳<sup>1)</sup>、天野賢<sup>1)</sup>、山下富也<sup>1)</sup>、北原誠治<sup>1)</sup>、刑部宏孝<sup>1)</sup>、伊藤誠委子<sup>1)</sup>、渡辺哲行<sup>1)</sup>、山原康裕<sup>1)</sup>、志築和枝<sup>1)</sup>、祖父江麗子<sup>2)</sup>、栗本高志<sup>3)</sup> (1)名古屋市生活衛生センター、2)南保健所、3)衛生研究所)

4. ヒトスジシマカにおける経産蚊の観察

山西 浩 (神戸学院大学)

5. 蚊の刺傷によると思われたアナフィラキシーショックの1例

○森田裕司<sup>1)</sup>、及川陽三郎<sup>2)</sup>、森田貴久子<sup>1)</sup>

(<sup>1)</sup>古座川町国保明神診療所、<sup>2)</sup>金沢医大医動物学)

**10 : 10～ 一般演題 (アリ, アブ, トコジラミ) 座長 : 山内健生**

6. ヒアリに対する当社製品の効力に関して

○杉岡弘基、渡辺友恵、引土知幸、川尻由美、中山幸治  
(大日本除虫菊株式会社中央研究所)

7. 京都府におけるヒアリ類に関する相談の現状について

○坂田裕介<sup>1)</sup>、横田景<sup>2)</sup>、須崎翔太<sup>2)</sup>、中嶋智子<sup>1)</sup>、藤本恭史<sup>1)</sup>、片山哲郎<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>京都府保健環境研究所環境衛生課、<sup>2)</sup>京都府自然環境保全課)

8. アルゼンチンアリ *Linepithema humile* 防除成功地区での在来アリ相の回復について

○中嶋智子、坂田裕介、分銅絵美、片山哲郎  
(京都府保健環境研究所環境衛生課)

9. シカがアブを連れて来た、続報

渡辺 護 (感染研昆虫医科学)

10. ネットイトコジラミ刺症について

夏秋 優 (兵庫医大皮膚科)

**11 : 10～ ワークショップ1 (マダニの生態) 座長 : 島津幸枝**

W1. 石川県におけるタカサゴキララマダニの侵入状況

○及川陽三郎<sup>1)</sup>、松村隆弘<sup>2)</sup>、村上 学<sup>1)</sup> (1)金沢医大・医動物、2)北陸大・医療保険)

W2. 名古屋市におけるマダニ類生息状況調査

○天野 賢<sup>1)</sup>、川西里佳<sup>1)</sup>、松田純治<sup>1)</sup>、山下富也<sup>1)</sup>、北原誠治<sup>1)</sup>、刑部宏孝<sup>1)</sup>、小川裕司<sup>1)</sup>、伊藤誠委子<sup>1)</sup>、渡辺哲行<sup>1)</sup>、山原康裕<sup>1)</sup>、内山達貴<sup>2)</sup>、上手雄貴<sup>3)</sup>、横井寛昭<sup>3)</sup>、奥貫智子<sup>2)</sup>、楫屋和紀<sup>2)</sup>、志築和枝<sup>1)</sup>、祖父江麗子<sup>4)</sup>、栗本高志<sup>3)</sup> (1)名古屋市生活衛生センター、2)環境薬務課、3)衛生研究所、4)南保健所)

W3. マダニの天敵を求めて、マダニを捕食する生物の検討

○坂部 茂俊、豊嶋 弘一、玉木茂久 (伊勢十字病院感染症内科)

W4. マダニ体内における病原体の存在様式から感染時期を推察する

矢野泰弘 (福井大学医学部医動物学領域)

12 : 15～ 支部幹事会

13 : 10～ 総会

**13:40～ ワークショップ2 (紅斑熱リケッチアとSFTSV) 座長:高田伸弘**

- W5. 和歌山県古座川町におけるマダニ相調査とマダニ保有リケッチアの検索**  
○藤田信子<sup>1)</sup>, 森田裕司<sup>2)</sup>, 森田貴久子<sup>2)</sup>, 藤田博己<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup> 馬原アカリ医学研究所, <sup>2)</sup> 古座川町国保明神診療所)
- W6. 淡路島のマダニ相とマダニ保有リケッチアの地域特性**  
○藤田博己<sup>1)</sup>, 藤田信子<sup>1)</sup>, 門馬直太<sup>2)</sup>  
(<sup>1)</sup> 馬原アカリ医学研究所, <sup>2)</sup> 福島県庁, 福島県立医科大学)
- W7. 富山県におけるマダニの紅斑熱群リケッチアおよび重症熱性血小板減少症候群ウイルス保有状況調査**  
○佐賀由美子<sup>1)</sup>, 名古屋真弓<sup>1)</sup>, 長谷川澄代<sup>1)</sup>, 稲崎倫子<sup>1)</sup>, 稲畑 良<sup>2)</sup>, 米田哲也<sup>1)</sup>, 板持雅恵<sup>1)</sup>, 青柳由美子<sup>1)</sup>, 渡辺 護<sup>3)</sup>, 山内健生<sup>4)</sup>, 小淵正次<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup> 富山県衛生研究所, <sup>2)</sup> 富山県食肉検査所, <sup>3)</sup> 国立感染症研究所, <sup>4)</sup> 兵庫県立大学)
- W8. 滋賀県内のマダニにおける重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルス保有状況調査**  
米谷僚子 (滋賀県衛生科学センター)
- W9. 2017年の福井県初確認SFTSも紅斑熱と同じ若狭湾岸東部にみた (予報)**  
○高田伸弘<sup>1)</sup>, 石畝 史<sup>2)</sup>, 宇田晶彦<sup>3)</sup>, 矢野泰弘<sup>1)</sup>, 小林元夫<sup>4)</sup>, 笠松宏至<sup>4)</sup>, 高田由美子<sup>5)</sup>  
(<sup>1)</sup> 福井大・医, <sup>2)</sup> 前福井衛環研, <sup>3)</sup> 国立感染研, <sup>4)</sup> 市立敦賀病院, <sup>5)</sup> MFSS)
- W10. 飯田市で診断された African tick bite fever の一例**  
○塚平晃弘<sup>1)</sup>, 野網淑子<sup>2)</sup>, 松本和彦<sup>3)</sup>, 佐藤寛子<sup>4)</sup>, 高田伸弘<sup>5)</sup>, <sup>6)</sup>  
(<sup>1)</sup> 飯田市立病院・総合内科, <sup>2)</sup> 同・皮膚科, <sup>3)</sup> 信州大・医・皮膚科, <sup>4)</sup> 秋田県健康環境センター・保健衛生, <sup>5)</sup> 福井大・医, <sup>6)</sup> MFSS)

15:30 散会